

事例研究(政策プロセスマネジメント)

Case Study (Public Policy Process Management)

(2008/04/09 版)

夏学期 (水) 10:20~12:00

第2本部棟 第3演習室

科目番号 5140200

担当教官:

城山英明 教授

siroyama@j.u-tokyo.ac.jp

法文 3 号館 316 号室

加藤浩徳 准教授

(工学系研究科社会基盤学専攻)

kato@civil.t.u-tokyo.ac.jp

工学部 11 号館 4F

松浦正浩 客員講師

matsuura@pp.u-tokyo.ac.jp

法文 1 号館 23 番教室(安田講堂前)

Office Hour: 水曜日 12:00~14:30 (要アポ)

Teaching Assistant:

清水麻友美

公共政策大学院公共管理コース2年

cwmmt@hotmail.com

概要:

一般に、政策プロセスは、課題設定、選択肢の創出、政策決定、政策実施、政策評価の諸段階から構成される。このうち、本事例研究では、課題設定という上流段階に注目することとしたい。これは、この上流段階の政策プロセスをいかにマネジメントするかが、政策決定及び政策実施段階における合意形成の可能性に大きなインパクトを与えられと考えられるからである。課題設定の段階においては、同じ対象であってもその提示のされ方によって人々の反応が異なることがフレーミング効果と呼ばれている。また、複雑な状況の下で何を中心的な問題として位置づけるかという点でもフレーミングが重要である。論争に関わる関係主体は、複数の見方が同時に共存できるような曖昧な状況を利用して、自分に有利な形で解釈を一つの方向に持っていこうとする。さらに、現実の政策過程においては、課題のフレーミングのあり方が適切でないために、様々な形での再フレーミング(reframing)が行われる。

本事例研究では、まず、政策プロセスにおける課題設定に関わる2つの手法について紹介する。第1の手法は問題構造化手法である。これは、特定の主体(個人または組織)によって認識されている問題構造をインタビューによって把握することにより、各主体のフレームを明示化する手法である。多様な主体の問題構造認識に関する情報を活用することによって、公共政策における課題抽出の支援を行ったり、問題構造認識の違いを各主体が相互に理解することを通じて、社会的合意形成の支援を行ったりすることを狙いとしている。第2の手法は、ステークホルダー分析である。これは、特定の政策課題についてステークホルダー間の合意形成の可能性を探るために実施する事前評価である。一定の手法に基づいてステークホルダーを抽出し、その関心事項をインタビュー等で把握した上で、何らかの生産的な合意へと達する見込みがあるのかを評価し、市民参加やパブリック・インボルブメントなどを議論の場を設ける場合、誰に参加してもらうべきか、どのようなテーマに関してどのような手順で議論すべきかを提示する。

その上で、参加者は、グループに分かれ、現実の素材に関して、問題構造化分析やステークホルダー分析を設計し、実施する。具体的には、交通・まちづくりに関する事例、地域医療に関する事例、環境問題に関する事例等を予定している。なお、参加者が現場に入るに先立って、様々な事例について、現場の当事者の話をうかがい、公共政策に関する課題設定の多面性を理解する機会も設ける予定である。

スケジュール:

- 4/9 **第 1 回**
 イントロダクション (城山)
- 4/16 **第 2 回**
 政策プロセスマネジメント、昨年の事例紹介
 (城山、昨年の受講生のみなさん)
- 4/23 **第 3 回**
 ステークホルダー分析 (松浦)
- 4/30 **第 4 回**
 参加型政策形成プロセス (松浦)
- 5/14 **第 5 回**
 問題構造化手法(富良野・宇都宮事例) (加藤、ゲスト)
- 5/21 **第 6 回**
 検討する事例の紹介、第 1 次調査結果発表 (ゲスト、学生)
- 5/28 **第 7 回**
 先進的な農業の取り組みに関する事例 (ゲスト)
- 6/4* **第 8 回**
 現地視察 (*5 月中の土曜日に日程変更の予定)
- 6/11 **第 9 回**
 先進的な医療の取り組みに関する事例 (ゲスト)
- 6/18 **第 10 回**
 調査作業
- 6/25 **第 11 回**
 調査作業
- 7/2 **第 12 回**
 学生発表(その1) (受講生 (1/2))
- 7/9 **第 13 回**
 学生発表(その2) (受講生 (2/2))
- 7/16 **第 14 回**
 全体打合せ:個別課題の見比べによる共通課題等の抽出
- 9 月* **第 15 回**
 最終発表 (ゲスト) (*9/5, 9/8, 9/9 いずれかの予定)

グループワーク:

現在の予定では、すべてのグループが、ある特定の市(関東近郊)における課題について検討する。ステークホルダー等を対象とした聞き取り調査※をもとに、本講義で扱う手法を用いて、検討する(※調査ごとにメモを作成し提出)。
各グループで検討する課題の例は以下の通り。

- ・農業
- ・観光
- ・医療
- ・環境
- ・交通
- ・教育

評価:

- | | |
|------------------------|-----|
| ・参加(個人[出席・議論への主体的参加]) | 30% |
| ・プレゼンテーション(グループ) | 30% |
| ・最終報告書(グループ) | 20% |
| ・最終報告書(個人[聞き取り参加状況など]) | 20% |

以上